

(第1回)、最終) 変更契約の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和7年5月20日
契 約 業 者 名	株式会社本間造園・隆成
契 約 業 者 の 住 所	新潟市西区小新1丁目5番2号
工 事 の 名 称	新潟港（東港地区）泊地（-12m）付帯外1件工事
工 事 場 所	新潟県北蒲原郡聖籠町東港3丁目地内
工 事 種 別	港湾土木工事
工 事 概 要	「令和7年3月から適用する公共工事設計労務単価について」の運用に係る特例措置による請負代金額の変更
工 期 （ 自 ）	令和7年3月5日
工 期 （ 至 ）	令和7年11月28日
変 更 前 の 契 約 金 額	88,462,000円(税込み)
変 更 金 額	1,851,296円(税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	90,313,296円(税込み)
変 更 理 由	「令和7年3月から適用する公共工事設計労務単価について」の運用に係る特例措置による請負代金額の変更が生じたため。

(第2回、**最終**) 変更契約の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和7年11月27日
契 約 業 者 名	株式会社本間造園・隆成
契 約 業 者 の 住 所	新潟市西区小新1丁目5番2号
工 事 の 名 称	新潟港（東港地区）泊地（-12m）付帯外1件工事
工 事 場 所	新潟県北蒲原郡聖籠町東港3丁目地内
工 事 種 別	港湾土木工事
工 事 概 要	別紙 工種・数量のとおり
工 期 （ 自 ）	令和7年3月5日
工 期 （ 至 ）	令和7年11月28日
変 更 前 の 契 約 金 額	90,313,296円(税込み)
変 更 金 額	103,400,000円(税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	193,713,296円(税込み)
変 更 理 由	・現状不一致に伴い、土工・法面工・仮設工・撤去工の数量を変更するため。 ・未計上項目が確定したため。

工 事 数 量 総 括 表

※ 本工事数量総括表内の数量は参考であり、完成検査時の確認の対象数量ではない。

工事名	令和6年度 新潟港（東港地区）泊地（-12m）付帯外1件工事（第2次変更）				事業区分	港湾整備
					工事区分	航路・泊地
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要
航路・泊地						
【泊地（-12m）】						
土工						
切土	押土有り	m3	44,206	46,546	2,340	地山数量
切土	押土無し	m3	12,381	10,866	▲ 1,515	地山数量
土砂等運搬	場内	m3	12,381	10,866	▲ 1,515	地山数量
盛土		m3	50,928	51,671	743	締固め数量
表土撤去	施工箇所～聖籠町蓮潟運搬	式	—	1	1	(未) 表土掘削 11,106m3 表土運搬 12,340m3
既設保護シート撤去		式	0	1	1	表土掘削 2,251m3 シート草類運搬2,251m3 土砂分別 30日
現場発生品積込み	現場内仮置場～処分先	t	0	116.0	116.0	埋立混合廃棄物：76.67t 廃プラ：築堤表面（18.24）+路体（21.24）＝39.48t
現場発生品運搬	現場内仮置場～処分先	t	0	116.0	116.0	泊地 築堤表面（18.24）+路体（21.24）＝39.48t
既設保護シート処分費	埋立混合廃棄物、廃プラ	kg	0	116,150	116,150	
残土仮置場整地		式	0	1	1	切土 24,727m3 整地 24,727m3 雑石積込 187m3 雑石運搬 187m3 現場発生品積込み 6.61t 現場発生品運搬 6.61t 処分費（CON殻二次製品）6.61t
法面工						
法面整形	法勾配1:2 バックホウ	m2	12,120	8,537	▲ 3,583	
法面整形	法勾配1:2 ロングアームバックホウ	m2	0	3,687	3,687	
被覆シート張	軟質塩化ビニールシート t=0.5mm	m2	8,878	8,535	▲ 343	
保護シート張	ブルーシート#2500 W3600	m2	6,641	7,537	896	
床掘	法尻部	m3	1,373	1,274	▲ 99	
床掘	天端部	m3	286	312	26	
埋戻し	法尻部	m3	1,373	1,274	▲ 99	
埋戻し	天端部	m3	286	312	26	

工 事 数 量 総 括 表

※ 本工事数量総括表内の数量は参考であり、完成検査時の確認の対象数量ではない。

工事名	令和6年度 新潟港（東港地区）泊地（-12m）付帯外1件工事（第2次変更）					事業区分	港湾整備
						工事区分	航路・泊地
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要	
仮設工							
飛砂防止柵撤去		m	568	568	0	単管パイプ(φ48.6mm、L=4.0m) (原)284本(変更)271本 (内、(原)210本(変更)156本転用) 単管パイプ(φ48.6mm、L=3.0m) (原)284本(変更)310本 (内、(原)210本(変更)211本転用) 単管パイプ(φ48.6mm、L=2.5m) (原)284本(変更)303本 (内、(原)210本(変更)211本転用) 単管パイプ(φ48.6mm、L=1.5m) (原)568本(変更)604本 (内、(原)420本(変更)422本転用) 飛砂防止ネット(2.0×2.0m、遮蔽率70%程度) (原)284枚(変更)315枚 (内、(原)210枚(変更)116枚転用) 直交クランプ(φ48.6mm) (原)1,136個(変更)1,173個 (内、(原)840個(変更)140個転用) 自在クランプ(φ48.6mm) (原)568個(変更)621個 (内、(原)420個(変更)113個転用) 単管ジョイント(φ48.6mm) (原)0個(変更)252個 (内、(原)0個(変更)46個転用) 亜鉛メッキ番線(#8) 1,874m 亜鉛メッキ番線(#12) 1,363m	
撤去飛砂防止柵運搬	施工箇所～仮置場	t	11	0	▲ 11	トラック	
撤去飛砂防止柵運搬	施工箇所～仮置場	日	0	6	6	不整地運搬車	
転用品飛砂防止柵運搬	仮置場～施工箇所	t	8	0	▲ 8	トラック	
転用品飛砂防止柵運搬	仮置場～施工箇所	日	0	5	5	不整地運搬車	
飛砂防止柵設置		m	420	420	0	単管パイプ(φ48.6mm、L=4.0m) 210本(転用品(原)210本(変更)156本、購入品(原)0本(変更)54本) 単管パイプ(φ48.6mm、L=3.0m) (原)210本(変更)211本(転用品(原)210本(変更)211本) 単管パイプ(φ48.6mm、L=2.5m) (原)210本(変更)211本(転用品(原)210本(変更)211本) 単管パイプ(φ48.6mm、L=1.5m) (原)420本(変更)422本(転用品) 飛砂防止ネット(2.0×2.0m、遮蔽率70%程度) 210枚(転用品(原)210枚(変更)116枚、購入品(原)0枚(変更)94枚) 直交クランプ(φ48.6mm) (原)840個(変更)844個(転用品(原)840個(変更)140個、購入品(原)0個(変更)704個) 自在クランプ(φ48.6mm) 420個(転用品(原)420個(変更)113個、購入品(原)0個(変更)307個) 単管ジョイント(φ48.6mm) (原)0個(変更)208個 (転用品46個、購入品162個) 亜鉛メッキ番線(#8) 1,386m(購入品) 亜鉛メッキ番線(#12) 1,008m(購入品)	

工 事 数 量 総 括 表

※ 本工事数量総括表内の数量は参考であり、完成検査時の確認の対象数量ではない。

工事名	令和6年度 新潟港（東港地区）泊地（-12m）付帯外1件工事（第2次変更）				事業区分	港湾整備
					工事区分	航路・泊地
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要
現場発生品積込み	現場内仮置場～処分先	t	0	0.4	0.4	飛砂防止ネット
現場発生品運搬	現場内仮置場～処分先	t	0	0.4	0.4	飛砂防止ネット
飛砂防止ネット処分費	廃プラ	kg	0	370.00	370.00	飛砂防止ネット
現場発生品積込み	現場内仮置場～有価物仮置場所	t	0	1.6	1.6	現場発生品
現場発生品運搬	現場内仮置場～有価物仮置場所	t	0	1.6	1.6	現場発生品
交通誘導警備員		式	0	1	1	
敷鉄板敷設		m2	0	845	845	91枚
敷鉄板賃料		枚	0	91	91	表土運搬時期～令和7年10月5日（R6d地盤改良その6引き継ぎ）
【航路泊地】						
撤去工						
既設余水箱撤去運搬	施工箇所～場内仮置場	基	12	12	0	上段6基 704.9kg/基 下段6基 767.4kg/基 (原)トラック(変更)不整地運搬車
排水管切断	t=12mm	m	13	107	94	
排水管運搬	施工箇所～場内仮置場	m	0	163	163	不整地運搬車
現場発生品積込み	現場内仮置場～有価物仮置場所	t	0	18.2	18.2	余水箱、既設排水管 φ 700mm
現場発生品運搬	現場内仮置場～有価物仮置場所	t	0	18.2	18.2	余水箱、既設排水管 φ 700mm
床掘		m3	165	1,304	1,139	
埋戻し		m3	177	1,599	1,422	
法面整形		m2	0	283	283	
既設集排水管撤去	有孔管 φ 200	m	249	506	257	築堤（418.47）+腹付残土(87.48)=505.95m
既設集排水管運搬	施工箇所～場内仮置場	m	0	506	506	不整地運搬車
床掘		m3	151	307	156	
埋戻し		m3	159	323	164	
既設集排水管処分費	廃プラ	kg	—	0	0	(未)
既設集排水管処分費	廃プラ	m3	0	44.5	44.5	
廃プラ積込み		m3	0	44.5	44.5	
廃プラ運搬		m3	0	44.5	44.5	
既設被覆シート撤去		m2	—	0	0	(未)
既設被覆シート処分費	廃プラ	kg	—	0	0	(未)
表土撤去		式	—	0	0	(未)
碎石運搬	支給場所～施工場所 L=1.0km以下	m3	0	61	61	支給品
碎石積込み（ルーズ）		m3	0	61	61	支給品

工 事 数 量 総 括 表

※ 本工事数量総括表内の数量は参考であり、完成検査時の確認の対象数量ではない。

工事名	令和6年度 新潟港（東港地区）泊地（-12m）付帯外1件工事（第2次変更）				事業区分	港湾整備
					工事区分	航路・泊地
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要
砕石敷均し		m3	0	61	61	支給品
堆積塵芥収集(機械処理)	発生場所～処分先	m3	0	65.0	65.0	
産業廃棄物処分費	サクシオンホース（廃プラ）	kg	0	6,100	6,100	
産業廃棄物処分費	不織布	kg	0	6,160	6,160	
産業廃棄物処分費	木屑建設用廃材	m3	0	4.0	4.0	
産業廃棄物処分費	廃プラ（水中ポンプ 架台、エルボ等）	m3	0	4.0	4.0	
産業廃棄物処分費	コンクリート廃材（二次製品）	t	0	0.56	0.56	
現場発生品積込み	発生場所～処分先	t	0	0.56	0.56	
現場発生品運搬	発生場所～処分先	t	0	0.56	0.56	
共通仮設						
共通仮設費						
運搬費						
分解組立運搬	ブルドーザ(32t級)	式	1	1	0	2台（往復）
仮設材等運搬	敷鉄板	式	0	1	1	146t(往路) 敷鉄板 91枚
準備費						
伐木		m2	—	0	0	(未)
除根		m2	—	0	0	(未)
除草(機械施工)		m2	0	29,280	29,280	5,680m2(腹付残土) +23,600m2(残土仮置場)
除草(人力施工)		m2	0	600	600	腹付残土
伐木・除根		m2	0	12,435	12,435	6,700m2(泊地) +1,015m2(腹付残土) +4,720m2(残土仮置場)
整地		m2	0	12,435	12,435	6,700m2(泊地) +1,015m2(腹付残土) +4,720m2(残土仮置場)
集積積込み		m2	—	12,435	12,435	6,700m2(泊地) +1,015m2(腹付残土) +4,720m2(残土仮置場)
不整地運搬	施工場所～場内仮置場	m3	0	852	852	612m3(泊地) +117m3(腹付残土)+123m3(残土仮置場)
木,根積込み		m3	0	852	852	612m3(泊地) +117m3(腹付残土)+123m3(残土仮置場)
運搬(生木)	場内仮置場～処分場	m3	0	583	583	429.5m3(泊地) +78.60m3(腹付残土)+75.22m3(残土仮置場)
運搬(根)	場内仮置場～処分場	m3	0	269	269	182.7m3(泊地) +38.50m3(腹付残土)+47.51m3(残土仮置場)
処分費(生木)		t	0	46.37	46.37	35.26t(泊地) +2.96t(腹付残土) +8.15t(残土仮置場)=46.37t
処分費(木根)		t	0	28.03	28.03	16.17t(根) +4.54t(腹付残土) +7.32t(残土仮置場)=28.03t
用地測量		式	0	1	1	
土質試験		式	0	1	1	
技術管理費						

工 事 数 量 総 括 表

※ 本工事数量総括表内の数量は参考であり、完成検査時の確認の対象数量ではない。

工事名	令和6年度 新潟港（東港地区）泊地（-12m）付帯外1件工事（第2次変更）				事業区分	港湾整備	
					工事区分	航路・泊地	
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要	
ICT活用施工管理モデル		式	0	1	1	3次元起工測量 1式 3次元設計データ作成 1式 3次元出来形測量 1式	
諸経費動向調査		式	1	1	0		
現場環境改善費							
快適トイレ設置		式	0	1	1	設置基数：1基 設置期間：本工事施工期間中	

※摘要欄に(概)、(未)を明示している数量は概数及び未計上であり、これについては契約変更の対象とする。